

# 高松塚古墳壁画発見



— Since 1972 —



歴史的発見の、記憶と継承。

五〇年前の一九七二（昭和四七年）、高松塚古墳の発掘調査が奈良県高市郡明日香村の村史編纂事業として、奈良県立橿原考古学研究所によって実施されました。発掘調査は、末永雅雄橿原考古学研究所長（関西大学名誉教授）の指導のもと、網干善教関西大学助教授（当時）が担当し、関西大学文学部考古学研究室で学ぶ学生や大学院生、地元有志などが参加しました。

発掘はまだ寒い三月一日から行われ、三月八日に深さ三mの盗掘穴の底に石槨を確認しました。雪のちらつく二日の正午過ぎ、薄暗い石槨内部をのぞき込んだ網干が彩色壁画を発見し、本学大学院生と学生がその瞬間を共有しました。

関西大学の考古学・古代史の研究は、高松塚古墳のある奈良・飛鳥の地と深く関わっています。高松塚古墳壁画発見から五〇年を記念して、歴史的発見の記憶と継承を展示します。

# 50周年

上：高松塚古墳発掘調査の網干善教助教授（当時）と学生・大学院生（1972）  
下：中尾山古墳発掘調査に参加する学生・大学院生（2020）



# 高松塚古墳 壁画発見



記憶と継承。  
歴史的発見の、

## 関西大学博物館テーマ展示

2022年 3・1 [火] ▶ 6・30 [木] 午前10時～午後4時

休館日：日曜日・祝日・大学の定める休業日

特別開館日：4月3日(日)・5月15日(日)・6月5日(日)・6月12日(日)

入館料：無料

会場：関西大学博物館常設展示室

主な展示物：高松塚古墳出土海獣葡萄鏡(複製)・棺透飾金具(複製)・奈良文化財研究所飛鳥資料館蔵・高松塚古墳石槨原寸大模型・高松塚古墳壁画復元図・発掘風景写真パネル・高松塚古墳発掘記念品など

### 高松塚古墳壁画再現展示室

関西大学博物館(簡文館)前の高松塚古墳壁画再現展示室では、墳丘をドーム状の透明ガラスで表現し、その中に精緻な美術陶板で再現した壁画を設置しています。

## 高松塚古墳壁画発見50周年記念講演会

2022年 3・12 [土] 午後1時30分～午後4時

講演

来村多加史 阪南大学教授「東アジアから見た高松塚古墳」

西本昌弘 関西大学博物館館長・関西大学教授「高松塚古墳の被葬者論」

米田文孝 関西大学教授「飛鳥の終末期古墳」

討論 「高松塚古墳壁画発見50周年」

会場：関西大学千里山キャンパス 尚文館1F マルティメディアAV大教室

受講：120名(先着順) 受講料：無料

### 講演会申込

受講を希望される方は、2次元コードまたは博物館HPのお知らせからお申込みください。

■個人情報、本講演会にのみ使用させていただきます。

感染拡大の状況によっては、やむをえず開催方法を変更することがあります。



### 会場



阪急電鉄千里線「関大前駅」下車、徒歩約10分



関西大学博物館  
Kansai University Museum

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号  
TEL:06-6368-1171 FAX:06-6388-9928  
E-mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp

関西大学博物館

検索

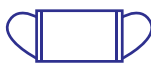
### 新型コロナウイルス感染拡大防止のご理解とご協力をお願い



体調不良もしくは発熱のいずれかの症状がある場合は、入館をご遠慮ください。



館内が込み合った場合は入館をお断りするか、入館までお待ちいただくことがあります。



入館時は必ずマスクをご着用ください。



感染拡大の状況によっては、やむをえず臨時休館させていただくことがあります。



最新の情報は博物館ホームページをご確認ください。